山口産業の健康経営について

健康宣言

山口産業は「膜の新しい価値の創出を通して、取り巻くものすべての利益の増進と起業の発展・向上をはかり社会に貢献します」を経営理念としています。合わせて経営方針の中に「社員の働き甲斐のある職場づくりと公正な機会を提供します」としています。
これらの実践のために社員の健康を守り、活力ある職場環境を構築するため、社員の健康づくりに取り組むことを宣言します。
（取り組み内容）
・疾病の高リスク者に対する重症化予防（再検査・精密検査の受診率向上）
・全国縦断歩数計喫煙率の低下
・メンタル不調者への対応（外部機関の活用促進）

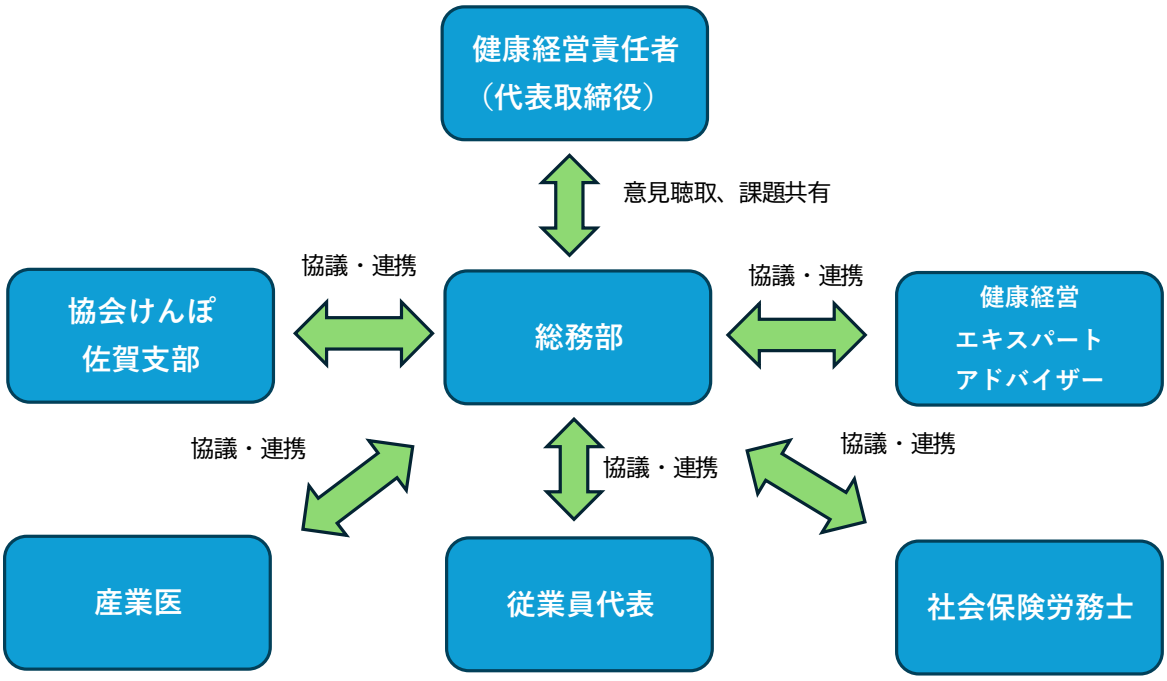
山口産業株式会社
代表取締役社長　山口篤樹

健康経営の取り組みについて

弊社は 1976 年設立の膜構造建築物メーカーです。 私たちは膜が持つ素材の良さを引き出し、それを提供する事により、お客様に満足していただける高い品質の製品とサービスをお届けしたいと考えています。 そのためには何よりもそこで働く従業員が、健康で物心ともに幸福でなければなりません。 より主体的に従業員の健康増進や豊かさをサポートしたいとの想いから、健康経営を導入することとなりました。 一人ひとりが健康で幸福感を持って働くことによる組織の活性化、生産性の向上を目指してまいります。

今年度は、「健康経営優良法人 2025（中小規模法人部門（ネクストブライト 1000））」にも選出いただきました。また、全国健康保険協会佐賀支部より「がばい健康企業宣言　優良企業 2024」の認定をいただきました。 社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取り組みが優良であると認められました。
以前より健康経営の取り組みを実施しており、今後も継続して社員の健康づくりを通して、従業員のワーク・エンゲイジメントの向上に取り組んでまいります。

推進体制



健康経営の重点指標

社員一人ひとりが心身ともに健康で最大限のパフォーマンスを発揮できるよう、以下の指標改善に取り組みます。

① 再検査・要精密検査の受診率向上

— 健康診断後のフォローアップを徹底し、疾病の早期発見・早期対応につなげる。

② 喫煙率の減少

— 禁煙支援制度や啓発活動を通じて、喫煙率を段階的に引き下げる。

③ アブセンティーイズム（病気欠勤の減少）

— 体調不良による欠勤を減らすため、予防と早期治療を支援。

④ プレゼンティーイズム（出勤時の生産性低下の改善）

— 不調を抱えながら働く状態を減らし、業務効率を高める。

⑤ ワーク・エンゲイジメントの向上

— 仕事への活力・熱意・没頭を高め、いきいきと働ける職場を育む。

⑥ 仕事満足度の向上

— 働きがいを実感できる環境を整備し、定着率・エンゲージメント向上に結びつける。

当社社員にみられる健康課題

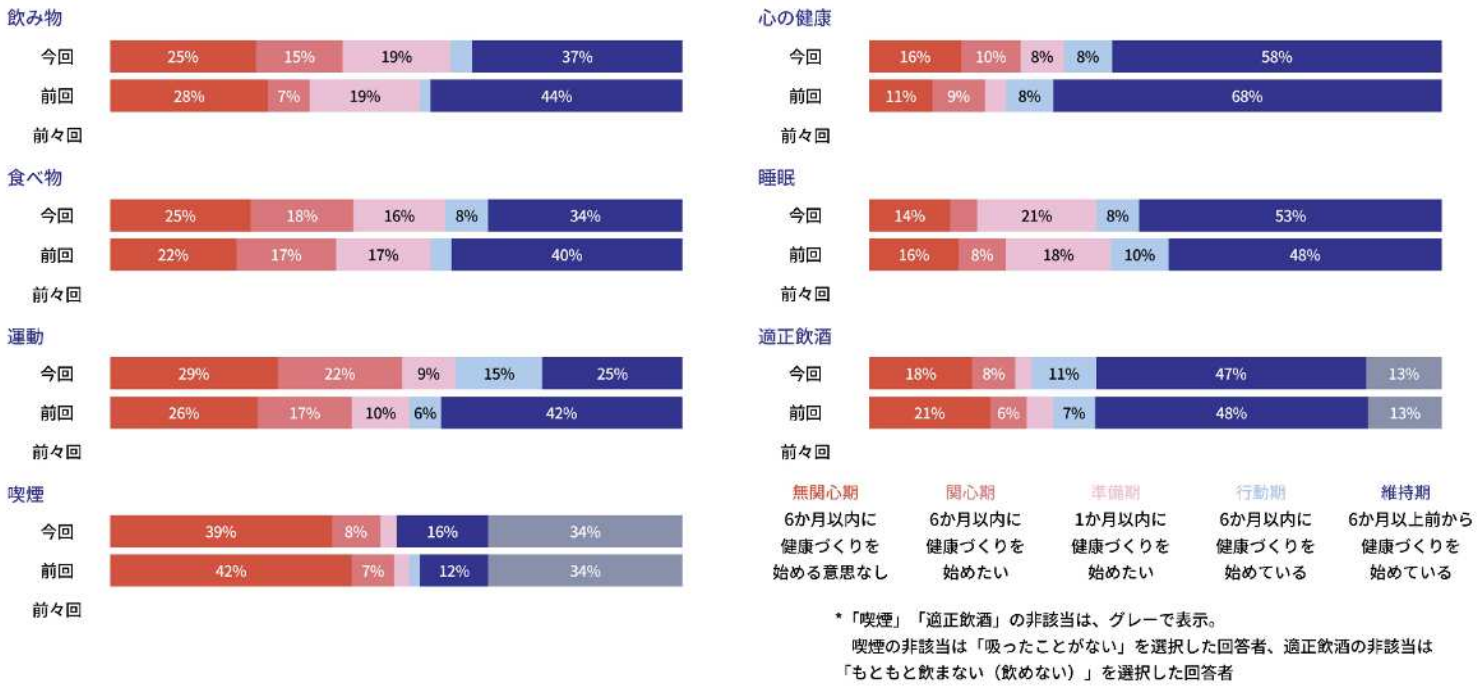
- 他企業と比較して**メタボリックシンドローム該当率が高く**、将来の生活習慣病リスクが懸念される。
- **喫煙率が高い**ため、継続的な禁煙サポートが必要。
- **飲酒習慣の適正化**に向けた意識改善が求められる。

健康関連指標の変化と目標値

健康関連指標	2024年	2025年	目標値（2026年）	最終目標値（2028年）
メタボリックシンドローム率（BMI・腹囲数値が高い）	47%	41%	43%	38%以下
定期健康診断実施率	100%	100%	100%	100%
再検査・精密検査実施率	31%	28%	60%	100%
特定保健指導実施率	83%	100%	100%	100%
喫煙率	52%	50%	47%	40%
アプセンティーイズム（傷病による平均欠勤日数）	5.0日	3.8日	4日	3日以下
プレゼンティーイズム（東京大学1問方式による生産性低下率）	19%	23%	18%	16%
仕事満足度（従業員アンケート調査によるスコア）	3.0	2.9	3.0	3.2

健康経営の取り組みに関する効果検証

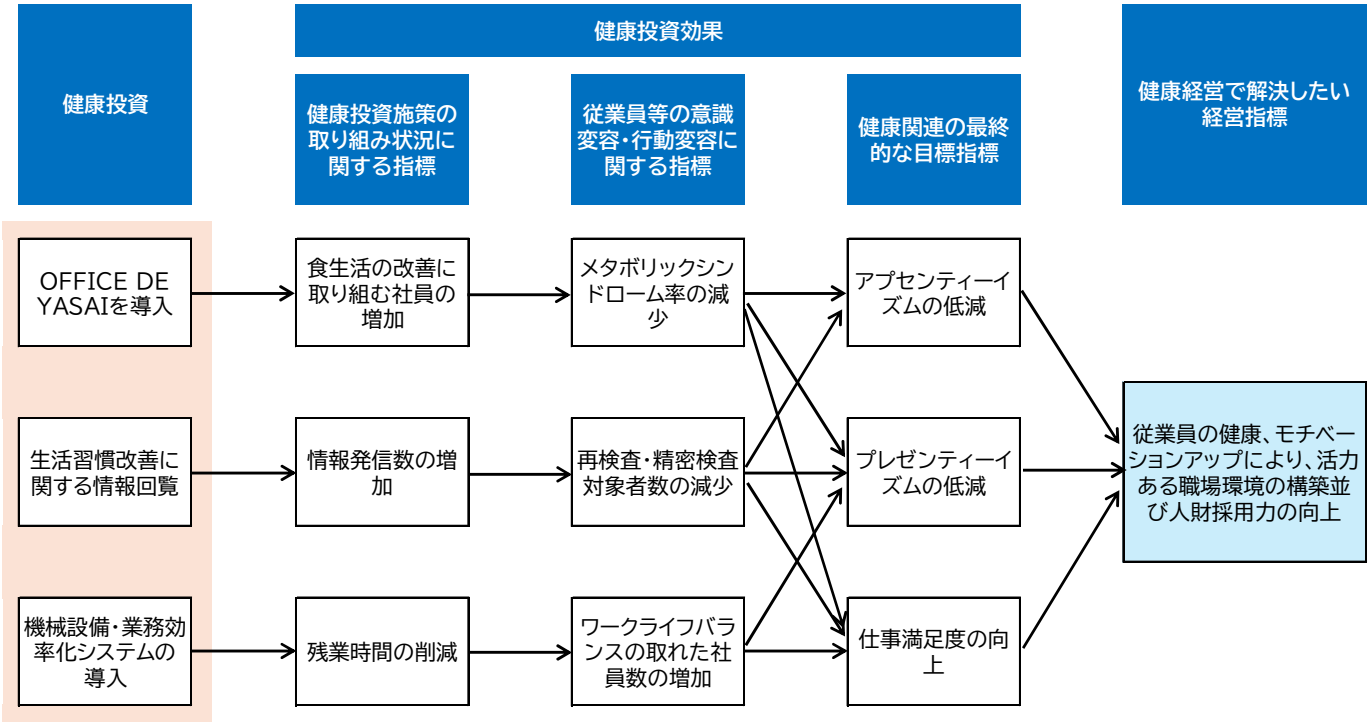
自社の具体的な健康課題把握と効果検証を目的に、年に１度社員へ健康習慣アンケートを実施しています。



*「喫煙」「適正飲酒」の非該当は、グレーで表示。
喫煙の非該当は「吸ったことがない」を選択した回答者、適正飲酒の非該当は「もともと飲まない（飲めない）」を選択した回答者

当社の健康経営推進の概略図（戦略マップ）

今後の課題への取り組みについて



健康経営への取組み

健康経営の基は身体から

〇健康状態を常に把握する機器の導入

⇒60歳以上、工務課、工場内勤務、現場下請け業者に対し腕時計型の“ウェアラブルデバイス”を支給しています。表面体温ではなく深部体温の上下を推定するもので、異常があった場合にはLEDの点滅やバイブレーションとアラームで注意喚起を行い、使用者への休息や水分補給を促すことを目的としています。

〇健康セミナーの実施

⇒事前の健康習慣アンケートに対してのフィードバックセミナー及びセルフケア体操の方法について開催しています。「腰痛」を代表とする心身の不調により、長期休職、離職などは会社の生産性、効率性を低下させる要因となっています。アンケート内容に対して、具体的な改善策の提示、体操の指導、セルフケアの指導など理学療法士の視点で指導していただきました。

〇オフィスで野菜の販売

⇒社員が、より健康的な食事を手軽に摂っていただけるよう、福利厚生の一環として設置型健康社食商品を購入できるようにしています。